

2015年3月期決算説明会



カシオ計算機株式会社

2015年5月12日

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2015年3月期連結決算概況

①

単位:億円

連 結	2014/3月期		2015/3月期			
	第4四半期 (1/1-3/31)	通期実績	第4四半期 (1/1-3/31)	前年比 増減額	通期実績	前年比 増減額
売上高	897	3,218	933	+37	3,384	+166
営業利益	92	266	107	+15	368	+102
利益率	10.3%	8.3%	11.5%	-	10.9%	-
経常利益	88	257	106	+18	379	+121
当期純利益	56	160	87	+31	264	+104

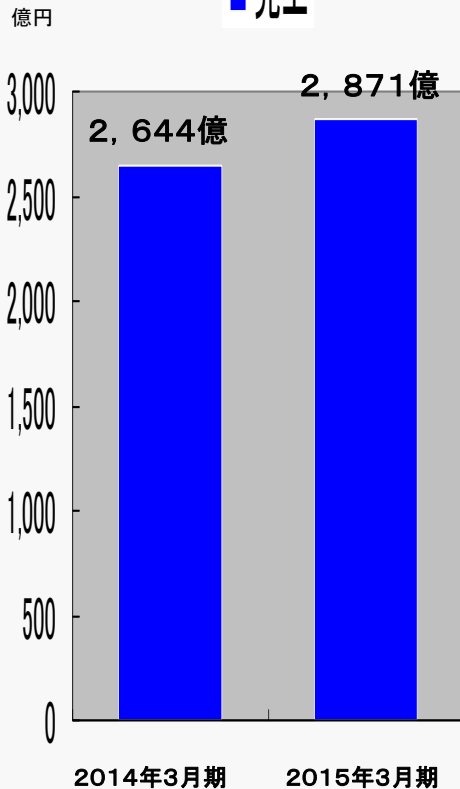
当期純利益、1株当たり当期純利益(100円)ともに過去最高記録

通期好業績の主要因

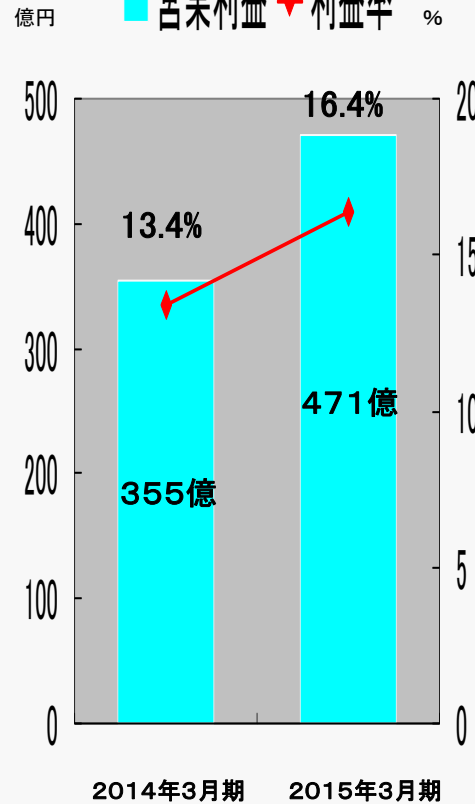
②

コンシューマの利益率改善(13.4%→16.4%)

■ 売上



■ 営業利益 + 利益率



◆時計のモデルミックスの改善

- ・G-SHOCK、OCEANUSのGPSハイブリッド電波ソーラーウォッチの販売好調
- ・スマートフォン連携Bluetoothウォッチ(EDIFICE)の販売好調

◆デジタルカメラのTRシリーズ、EX-FR10、EX-ZR50の独自ハイエンド商品拡大により利益拡大

◆電卓のローカライズ商品の拡大による売上、利益拡大

- ・中国: 音声電卓、インド: 桁表示・検算電卓
- ・高精細な母国語表示関数電卓(日本語、中国語、アラビア語)

2016年3月期決算予測

③

単位:億円

連 結	2015/3月期	2016/3月期			
	通期実績	上期計画	下期計画	通期計画	前年比 増減額
売上高	3,384	1,700	2,000	3,700	+316
営業利益	368	200	300	500	+132
利益率	10.9%	11.8%	15.0%	13.5%	-
経常利益	379	190	290	480	+101
当期純利益	264	130	200	330	+66

営業利益、経常利益、当期純利益(2期連続)過去最高を目指す

今期の事業戦略

1. 時 計

◆GPSハイブリッド電波ソーラーウォッチ(G-SHOCK,OCEANUS)、スマートフォン連携Bluetoothウォッチ(EDIFICE)の販売拡大

グローバルで空港プロモーション展開の拡大により、インバウンド需要を含め全世界でガシオファンを増やし、販売実績につなげる

空港広告



+

機内誌



+

免税店等



◆サインージの活用による販売拡大

- ・確実に店頭で興味を喚起し、購入へと誘導する店頭イノベーションツール



2. デジタルカメラ

- ◆ガシオの独自ジャンルの新製品投入により販売拡大
(TRシリーズ、EX-FR10、ZRシリーズ)
- ◆サインージ活用による販売拡大

3. 電卓

- ◆海外ローカライズ商品のラインアップ拡大
→関数電卓の高精細母国語表示モデル拡大

4. 楽器

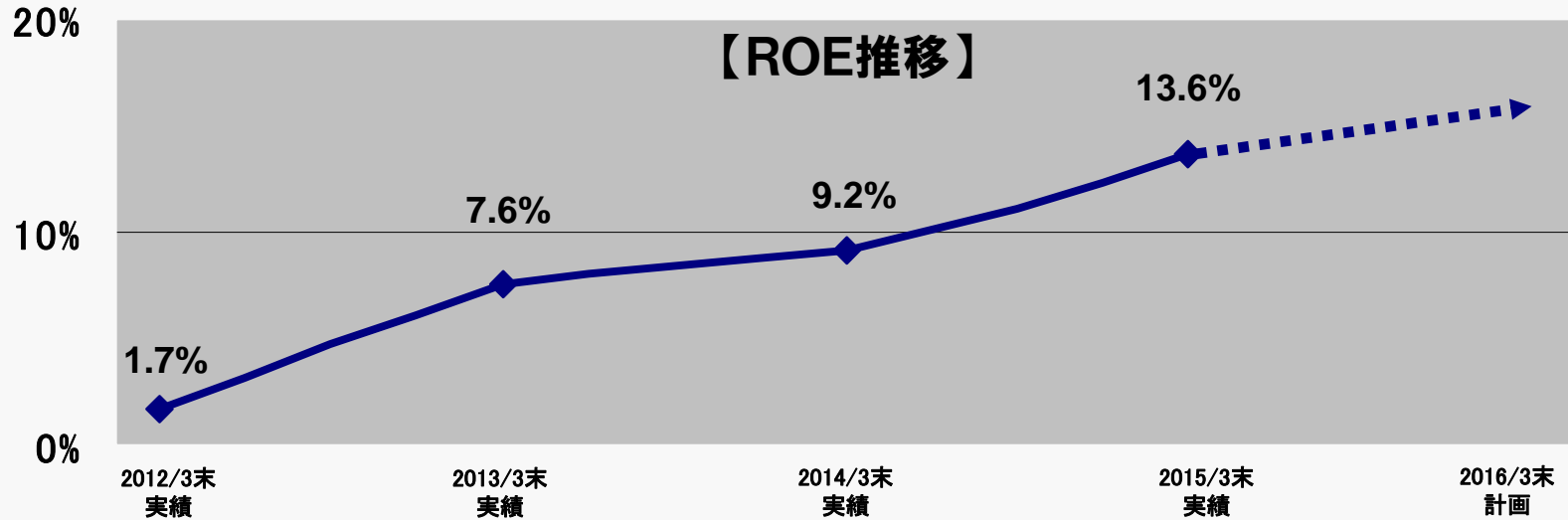
- ◆高価格帯電子ピアノの投入で製品ミックス改善により販売拡大
- ◆トラックフォーマー(DJ機器)の投入で若者層の新市場を開拓し
販売拡大

5. プロジェクター

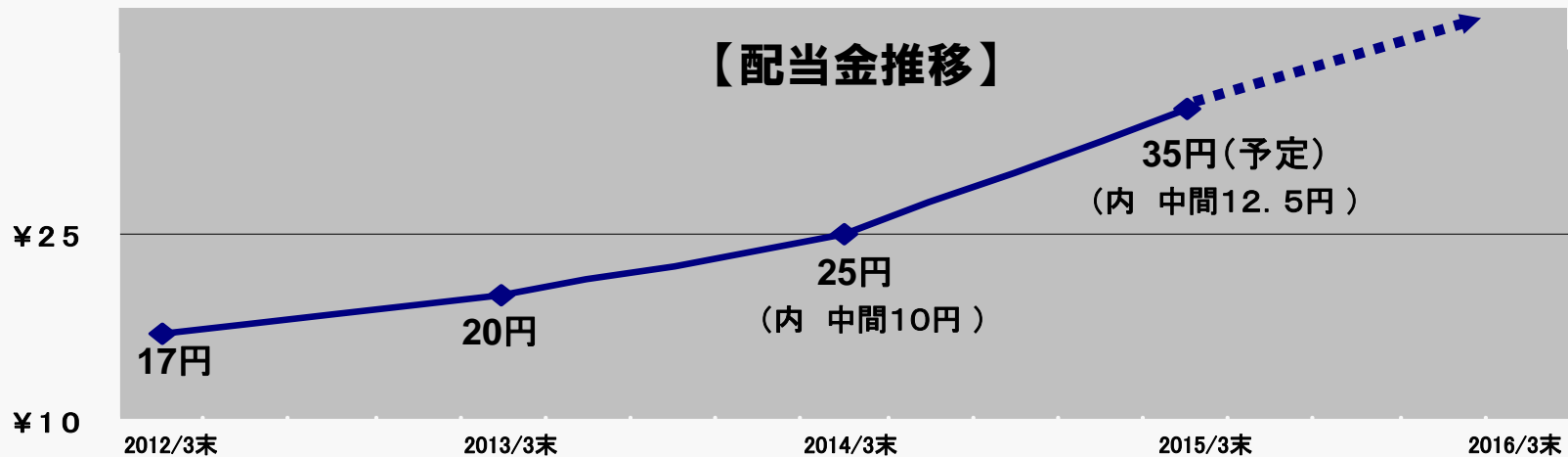
- ◆価格競争力のある画期的な新製品XJ-V1
(水銀フリー、光源寿命2万時間、クイック起動/最短5秒、低消費電力)
投入による販売拡大

株主還元施策

◆収益性を高め、ROE向上



◆配当政策を中心とする還元施策の強力推進



セグメント別売上・営業利益

<ご参考>

単位:億円

連 結	2015/3月期	2016/3月期		
売上高	通期実績	上期計画	通期計画	前年比 増減額
コンシューマ	2,871	1,420	3,105	+234
システム	408	230	490	+82
その他	104	50	105	+1
合計	3,384	1,700	3,700	+316
営業利益				
コンシューマ	471	226	535	+64
システム	▲57	0	10	+67
その他	▲2	0	0	+2
調整額	▲45	▲26	▲45	0
合計	368	200	500	+132

END